

令和5年度 貝毒プランクトン出現状況（5月11日現在）

男鹿半島戸賀湾で貝毒の原因とされるプランクトン（渦鞭毛藻 *Dinophysis*属）の出現状況を調査しています（4月から8月にかけて計12回予定）。

今期4回目となる5月11日の調査では、その他の*Dinophysis*属として、*D. infundibula*と*D. rotundata*が出現しました。

*D. fortii*の出現数は減少しましたが、影響は残っていますので、ご注意ください。

調査月日		水深	水温 (°C)	貝毒プランクトン出現量 (細胞数/L)		
				<i>D. fortii</i>	<i>D. acuminata</i>	その他 <i>Dinophysis</i> 属
①	4/5	5 m	11.2	41	14	14
		10m	11.2	41	23	32
		20m	10.7	59	18	5
②	4/18	5 m	11.4	162	59	77
		10m	11.4	185	36	72
		20m	11.2	200	52	20
③	5/2	5 m	12.5	90	35	145
		10m	12.3	343	84	91
		20m	12	329	46	67
④	5/11	5 m	13.8	21	4	25
		10m	13.2	28	8	108
		20m	12.6	60	25	91
⑤		5 m				
		10m				
		20m				
⑥		5 m				
		10m				
		20m				
⑦		5 m				
		10m				
		20m				
⑧		5 m				
		10m				
		20m				
⑨		5 m				
		10m				
		20m				
⑩		5 m				
		10m				
		20m				
⑪		5 m				
		10m				
		20m				
⑫		5 m				
		10m				
		20m				

なお、警戒値は*Dinophysis fortii*については200細胞/L（海水1リットルあたり200細胞）以上とされています（安本 1993）